

株式のご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 毎年3月31日
受領株主確定日
中間配当金 毎年9月30日
受領株主確定日
定時株主総会 毎年6月
公告方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL (http://www.presskogyo.co.jp)

ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

上場取引所 東京証券取引所第一部
証券コード 7246
単元株式数 1,000株

【株式に関するお手続きについて】

● 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取（買増）請求 ・住所・氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定※	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人 【手続書類のご請求方法】 ・音声自動応答電話によるご請求 TEL: 0120-244-479 (通話料無料) ・インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

● 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **7246**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

PRESS KOGYO

株主通信

第112期 報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

Pursuing Further Growth as a Global Specialty Manufacturer



株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社はこの度、第112期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)を終了いたしました。プレス工業グループの総力を結集して売上の拡大と収益力の強化に取り組んだ結果、前期比で増収増益を達成することができました。ここに当期の経営成績と今後の事業戦略について謹んでご報告させていただきます。

代表取締役社長

角堂 博茂

Q 当期の経営環境と連結業績の概要、ならびに経営成績に対する自己評価をお聞かせください。

A 積極的な営業活動と収益基盤の強化に取り組んだ結果、前期比で増収増益を達成することができました。

国内の事業環境は、復興需要が継続したことに加え、社会インフラ整備の動きが活発だったことから、自動車部品、建設機械用キャビンともに総じて堅調に推移しました。一方、海外事業は、当社が生産拠点を置く中国やタイ、インドネシアで経済成長が鈍化したことを受け、現在に至るまでやや厳しい状況が続い

ております。

こうした事業環境のもと、当社グループは積極的な拡販に取り組むと同時に、自動化・省人化による生産性向上活動やコスト削減策を実行し、収益基盤の一層の強化を図りました。この結果、2014年3月期の連結業績は前期比で増収増益を達成、とくに国内単体の収益は過去最高となり、リーマンショック前の水準を回復しました。企業価値の最大化へ、より一層弾みがついた意義ある1年であったと総括しています。

Q 当期の主要な取り組みとその成果についてご説明ください。

A 宇都宮工場に大型アクスル用の最新鋭設備を導入し、製品の競争力を一段と強化しました。

先進的な技術開発やグローバル展開の加速など、当期もさまざまな経営施策を鋭意推進いたしました。その一例として、生産体制の高度化についてご紹介しますと、2013年4月、宇都宮工場に導入した大型

アクスル用の最新鋭設備が稼働を開始しました。当社グループはこれまで生産性の向上を図るためグループ丸となって「ものづくり改革」を進めてきましたが、今回の生産設備更新で品質の向上とコストの削減を併せて実現し、競争優位性をさらに高めることができましたと自負しています。



連結業績



※業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますので承知おきください。

Q 本年4月に2018年度を最終年度とする中期経営計画がスタートしました。策定の狙いと定量目標についてご説明をお願いします。

A 3点の骨子（基本方針）のもと、売上高2,700億円、営業利益率10%以上の達成を目指しています。

昨年10月に社長に就任し、最初に手掛けた仕事が前中計以来6年ぶりとなる新たな中期5か年計画の策定でした。この中期経営計画では、「コアビジネス拡大による成長戦略」「構造改革による経営基盤の強化」「新たな事業の柱づくり推進－イノベーションの実現」の3点を骨子に決めました。

新たな事業の創出については、当社グループがト

ラックの基幹部品や建設機械用キャビンの開発・生産で培ってきた技術力と製造インフラを有効活用し、自動車・建機向け以外の領域で新たな収益源を確立してまいります。事業化が可能なシーズは多数ありますが、その中のひとつ、すでに量産モデルも完成している防災用シェルターには、当社のROPSキャビンに使用されている独自の異形鋼管技術が応用展開されています。

今回の中期経営計画では、定量目標として売上高2,700億円、営業利益率10%以上、自己資本比率50%以上、自己資本利益率12%以上（いずれも2018年度）を掲げました。タイや中国の生産拠点が順調に稼働し、国内で利益率の高い新規事業が立ち上がっていけば、この目標は十分に達成可能だと考えています。

中期経営計画骨子

1. コアビジネス拡大による成長戦略

- 1) オリジナル商品・仕様の提案による拡販の実現
- 2) ビジネス領域拡大（モジュール化等）の推進
- 3) 最適グローバル体制の構築と拡販の展開

2. 構造改革による経営基盤の強化

- 1) ものづくり改革によるQCD競争力
- 2) グループマネージメント
- 3) グループ経営資源（人材育成・成長投資・財務体質）

3. 新たな事業の柱づくり推進－イノベーションの実現

新領域の開発推進と新規事業の実現

	2018年度目標
売上高	2,700億円
営業利益率	10%以上
自己資本比率	50%以上
自己資本利益率(ROE)	12%以上

Q グローバル展開の現況と、今後の成長戦略についてお聞かせください。

A グローバル体制の最適化と、日系・非日系企業への販売拡大に取り組んでいます。

海外事業を軸に成長シナリオを描いていくという当社グループの基本方針に変更はありません。最適なグローバル体制の構築と在外日系企業への拡販に注力し、海外売上高の拡大を図ってまいります。非日系メーカーへの販売については、ボルボ本社に現地工場で生産したトラック部品を納めているほか、本年6月からは米系自動車メーカーへのアクスル供給もスタートしました。

当社は昨年12月、新株予約権付社債を発行して100億円を調達しましたが、調達資金のうち66億円を中国、タイ、インドネシアにおける生産能力増強に振り向ける計画です。また今後は日系の自動車メーカーや建設機械メーカーが進出しているインドやメキシコ以南の米州について、生産拠点設置の可能性を検討してまいります。

Q 最後に株主の皆様にごメッセージをお願いします。

A 熟練の技能とものづくりの理念を堅持し、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

プレス工業は2015年に創立90周年を迎えます。日本の自動車産業の黎明期から基幹部品の開発供給を



通じてモータリゼーションの発展を支え、さらに時代の変遷とともに建設機械用キャビンやトラック完成車などへ事業領域を拡げてまいりました。長い年月をかけて培ってきた卓越した技能と真摯なものづくりの理念、それを社長として今後も堅持、継承していきたいと考えています。

株主の皆様への利益還元も経営の最重要課題のひとつです。安定的な配当を維持しつつ、同時に将来の投資に向けて内部留保の充実化にも努め、持続的な成長と企業価値の最大化を実現してまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループに対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第112期 平成26年 3月31日現在	第111期 平成25年 3月31日現在
資産の部			
流動資産		59,706	51,872
現金及び預金		12,367	12,178
受取手形及び売掛金		28,534	26,344
商品及び製品		1,301	689
仕掛品		12,173	8,188
原材料及び貯蔵品		1,246	1,104
繰延税金資産		1,418	1,374
未収還付法人税等		93	245
その他		2,586	1,746
貸倒引当金		△15	△0
固定資産		91,127	77,063
有形固定資産		80,663	67,769
建物及び構築物		13,535	9,595
機械装置及び運搬具		19,528	16,601
工具、器具及び備品		5,219	3,861
土地		31,719	31,528
建設仮勘定		10,660	6,182
無形固定資産		1,344	301
借地権その他		1,344	301
投資その他の資産		9,118	8,992
投資有価証券		5,367	5,056
長期貸付金		14	19
繰延税金資産		597	528
退職給付に係る資産		1,754	—
その他		1,495	3,500
貸倒引当金		△110	△112
資産合計		150,833	128,935

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	期別	第112期 平成26年 3月31日現在	第111期 平成25年 3月31日現在
負債の部			
流動負債		53,749	49,480
支払手形及び買掛金		21,519	20,300
電子記録債務		6,353	5,013
短期借入金		10,324	14,342
リース債務		955	792
未払法人税等		2,370	1,192
賞与引当金		2,857	2,546
役員賞与引当金		127	128
その他		9,239	5,164
固定負債		31,791	20,956
転換社債型新株予約権付社債		10,000	—
長期借入金		8,882	7,626
リース債務		980	1,300
繰延税金負債		2,049	2,241
再評価に係る繰延税金負債		8,844	8,844
退職給付引当金		—	336
退職給付に係る負債		427	—
環境対策引当金		59	59
資産除去債務		406	406
その他		140	140
負債合計		85,540	70,437
純資産の部			
株主資本		42,794	37,561
資本金		8,070	8,070
資本剰余金		2,074	2,074
利益剰余金		33,842	28,604
自己株式		△1,192	△1,187
その他の包括利益累計額		17,822	16,045
その他有価証券評価差額金		1,325	1,107
土地再評価差額金		16,013	16,013
為替換算調整勘定		1,363	△1,074
退職給付に係る調整累計額		△879	—
少数株主持分		4,676	4,890
純資産合計		65,293	58,498
負債・純資産合計		150,833	128,935

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第112期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	第111期 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高		183,618	175,122
売上原価		162,126	154,264
売上総利益		21,491	20,857
販売費及び一般管理費		12,091	11,971
営業利益		9,400	8,886
営業外収益		1,239	1,307
受取利息		85	162
受取配当金		104	70
為替差益		839	891
その他		209	182
営業外費用		541	529
支払利息		422	501
コミットメントフィー		69	—
その他		49	28
経常利益		10,098	9,664
特別利益		469	62
固定資産売却益		11	11
関係会社清算益		418	—
その他		39	51
特別損失		296	553
固定資産除却損		189	169
固定資産売却損		1	0
災害による損失		105	—
クレーム費		—	364
その他		0	19
税金等調整前当期純利益		10,270	9,173
法人税・住民税及び事業税		3,753	2,799
法人税等調整額		140	523
法人税等合計		3,893	3,323
少数株主損益調整前当期純利益		6,377	5,850
少数株主利益		106	261
当期純利益		6,270	5,588

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第112期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	第111期 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー		13,906	10,291
投資活動による キャッシュ・フロー		△18,599	△10,545
財務活動による キャッシュ・フロー		3,968	△4,041
現金及び現金同等物に係る 換算差額		1,038	764
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		313	△3,530
現金及び現金同等物の 期首残高		11,840	15,371
現金及び現金同等物の 期末残高		12,153	11,840

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

FINANCIAL STATEMENTS (CONSOLIDATED)

[連結財務諸表]

連結株主資本等変動計算書 第112期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成25年4月1日 期首残高	8,070	2,074	28,604	△1,187	37,561
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△1,032		△1,032
当期純利益			6,270		6,270
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	0	5,238	△5	5,232
平成26年3月31日 期末残高	8,070	2,074	33,842	△1,192	42,794

(単位：百万円)

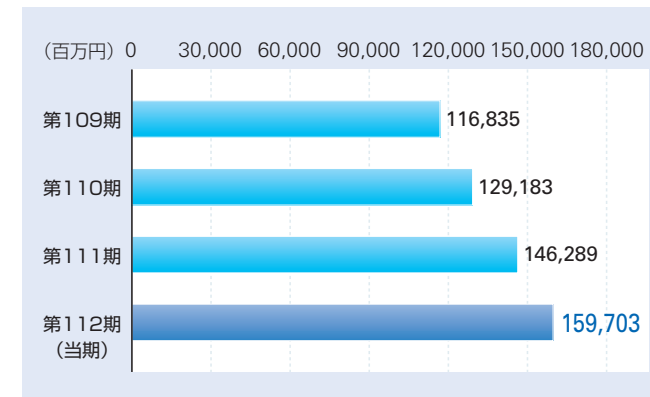
	その他の包括利益累計額					少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
平成25年4月1日 期首残高	1,107	16,013	△1,074	—	16,045	4,890	58,498
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当							△1,032
当期純利益							6,270
自己株式の取得							△5
自己株式の処分							0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	218	—	2,437	△879	1,776	△214	1,562
連結会計年度中の変動額合計	218	—	2,437	△879	1,776	△214	6,794
平成26年3月31日 期末残高	1,325	16,013	1,363	△879	17,822	4,676	65,293

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

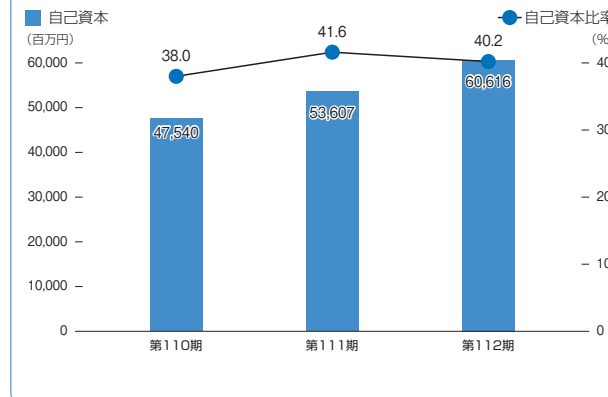
SALES BY SEGMENT / MAJOR FINANCIAL INDICES

[セグメント業績 / 主要財務指標]

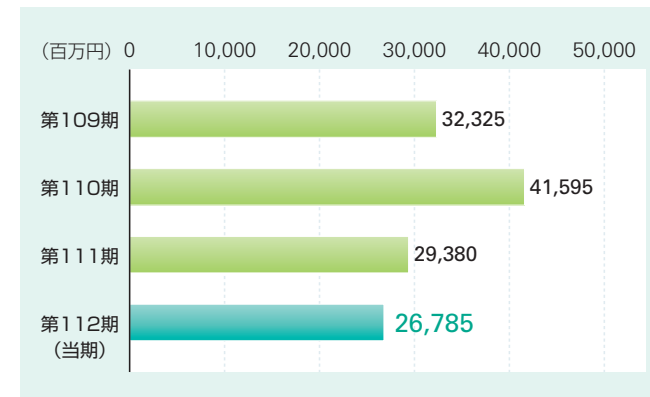
自動車関連事業



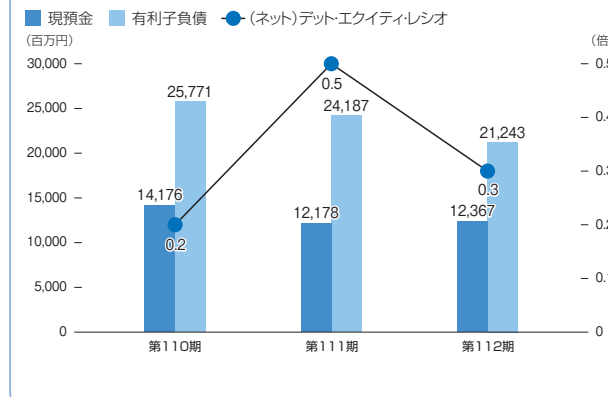
自己資本 / 自己資本比率



建設機械関連事業



有利子負債 / (ネット)デット・エクイティ・レシオ



単独貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第112期 平成26年 3月31日現在	第111期 平成25年 3月31日現在
資産の部			
流動資産		39,544	30,437
固定資産		68,951	65,475
有形固定資産		44,761	45,032
無形固定資産		151	217
投資その他の資産		24,039	20,225
資産合計		108,495	95,913
負債の部			
流動負債		29,010	30,817
固定負債		24,217	15,978
負債合計		53,227	46,796
純資産の部			
株主資本		37,951	32,014
資本金		8,070	8,070
資本剰余金		2,074	2,074
利益剰余金		28,999	23,057
自己株式		△1,192	△1,187
評価・換算差額等		17,316	17,101
その他有価証券評価差額金		1,303	1,088
土地再評価差額金		16,013	16,013
純資産合計		55,268	49,116
負債・純資産合計		108,495	95,913

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単独株主資本等変動計算書

第112期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位：百万円)

事業年度中の変動額	株主資本										評価・換算差額等			純資産合計		
	資本剰余金					利益剰余金					自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価 差額金		土地 再評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計
	資本金	資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	固定資産 圧縮積立金	その他 利益剰余金	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計							
平成25年4月1日期首残高	8,070	2,074	0	2,074	25	48	11,000	11,982	23,057	△1,187	32,014	1,088	16,013	17,101	49,116	
固定資産圧縮積立金の取崩し					△5	5										
剰余金の配当																
当期純利益																
自己株式の取得																
自己株式の処分			0	0												
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)																
事業年度中の変動額合計	-	-	0	0	-	△5	-	5,947	5,942	△5	5,937	214	-	214	6,151	
平成26年3月31日期末残高	8,070	2,074	0	2,074	25	43	11,000	17,930	28,999	△1,192	37,951	1,303	16,013	17,316	55,268	

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単独損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第112期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	第111期 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高		119,897	111,572
売上原価		104,587	97,637
売上総利益		15,309	13,935
販売費及び一般管理費		6,519	6,779
営業利益		8,790	7,155
営業外収益		1,733	1,914
営業外費用		249	221
経常利益		10,274	8,848
特別利益		456	51
特別損失		140	159
税引前当期純利益		10,591	8,740
法人税・住民税及び事業税		3,248	2,258
法人税等調整額		368	670
当期純利益		6,974	5,810

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

(平成26年3月31日現在)

商号	プレス工業株式会社 PRESS KOGYO CO.,LTD.
本店所在地	〒210-8512 川崎市川崎区塩浜一丁目1番1号
事業所所在地	川崎工場 (川崎市川崎区) 横浜事務所 (横浜市西区) 宇都宮工場 (栃木県下野市) 埼玉工場 (埼玉県川越市) 藤沢工場 (神奈川県藤沢市) 尾道工場 (広島県尾道市)
創立	大正14年2月16日
資本金	8,070,221,336円
従業員数	1,953名 (連結従業員数6,171名)

主要な子会社

(平成26年3月31日現在)

株式会社協和製作所
尾道プレス工業株式会社
鉾金工業株式会社
PK U.S.A.,INC.
PRESS KOGYO SWEDEN AB
THAI SUMMIT PKK CO.,LTD.
THAI SUMMIT PKK BANGPAKONG CO.,LTD.
THAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.
蘇州普美駕駛室有限公司
普萊斯冲庄部件(蘇州)有限公司
普萊斯工業小型駕駛室(蘇州)有限公司
PT.PK Manufacturing Indonesia
(他15社)

役員

(平成26年6月27日現在)

代表取締役社長 兼社長執行役員(CEO)	角堂 博茂	監査役(社外監査役)	竹内 淳	常務執行役員	中山 隆史
代表取締役副社長 兼副社長執行役員(CTO)	高橋 正美	監査役(社外監査役)	市東 康男	上席執行役員	馬林 栄司
取締役 兼専務執行役員(CFO)	齊藤 正人	監査役	河野 誠	上席執行役員	廣瀬 俊範
取締役兼常務執行役員	池田 裕彦	常務執行役員	尾浪 和彦	執行役員	矢原 洋
取締役兼常務執行役員	美野 哲司	常務執行役員	行川 満夫	執行役員	二村 幸一
取締役兼常務執行役員	村山 哲	常務執行役員	遠藤 徳明	執行役員	内田 正巳
取締役(社外取締役)	原田 忠禮	常務執行役員	瀬上 和利	執行役員	中山 雅一
常勤監査役	中村 茂夫	常務執行役員	石丸 隆夫	フェロー	ピター・ワットム

株式の状況

(平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	114,007,210 株
株主数	8,938 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
いすゞ自動車株式会社	10,151	9.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,168	6.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,917	5.45
ジェービー・モルガン・チェース・バンク 3 8 5 6 3 2	5,191	4.78
RBC ISB A / C DUB NON RESIDENT-TREATY RATE	4,700	4.33
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVIO 1	3,333	3.07
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,390	2.20
プレス工業従業員持株会	2,310	2.13
プレス工業取引先持株会	2,097	1.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,717	1.58

※1. 上記のほか、当社が保有している自己株式が、5,370,271株あります。
※2. 持株比率は自己株式保有総数を控除して計算しております。

所有者別分布状況

